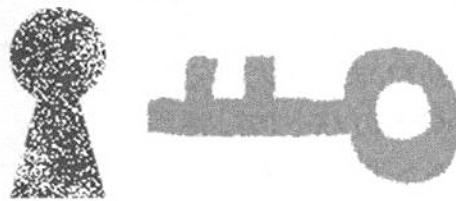


うらとの
ウラガワを
のぞこう！



『ノゾキミ展 & 報告会』

だんべっこ船ツアーや
これまでの取り組み等々

ノゾキミ展

- ◎日 時： 2015年 **1月24日** (土) ~ **2月7日** (土)
- ◎場 所： 浦戸諸島開発総合センター「うらとラウンジ菜の花」

報告会

- ◎日 時： 2015年 **1月31日** (土) 14:00-16:00
- ◎場 所： 浦戸諸島開発総合センター 集会室
- ◎申 込： 裏面 FAX、または直接窓口へ

黄色いガイドブック誕生から一年。もっと面白い「うらとのウラガワ」を記録し、伝えるために、「うらとのウラガワ・ノゾキミ帖」の作成をはじめました。今回は、その中から選りすぐりの5点を、うらとラウンジ菜の花にて展示いたします。報告会では、「ノゾキミ帖」作成の経緯や、「ノゾキミ帖」の使い方の一つとして実施した「だんべっこ船ツアー」の様子をご紹介します。なお、当日は、「島の味」もご用意して、お茶っこ飲みながらのざっくばらんな会となる予定です。ぜひ、みなさまお誘い合わせの上、ご参加ください。

主 催：塩竈市・塩竈市浦戸振興推進協議会 協 力：環境省

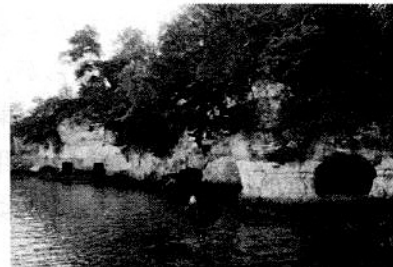
※本展示及び報告会は、環境省「平成26年度復興エコツーリズム推進モデル事業」の支援を受け、浦戸諸島のみなさまと島とゆかりのある団体等のみなさまへ、お披露目会として実施するものです。

塩竈市浦戸諸島

野々島
02

先人が手掘りで切り開いた洞穴群

一家にひとつ、便利な倉庫「ボラ」



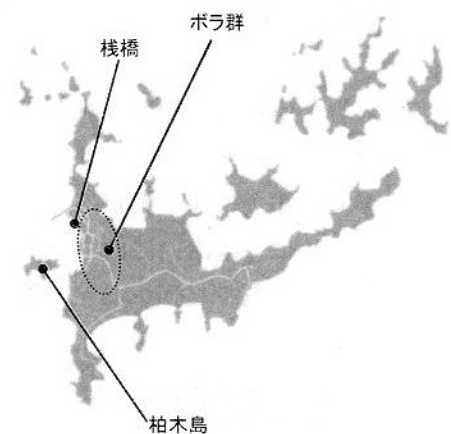
崖下の洞穴は縄文遺跡！？

この縄文時代の遺跡のような洞穴、一体いつ、だれが掘ったものだろうか。野々島では、このような洞穴が、**棧橋**近くの崖沿いや**観音堂**の裏に数多く残っている。

この洞穴を島の人たちは「ボラ」と呼ぶ。「ボラ」の歴史や目的は正確には謎だが、その昔、貿易で巨万の富をなした「内海長者の伝説」が野々島にあり、たくわえた富を保管するためにボラが掘られたという説もあることから、少なくとも700年前には存在したと言われる。

現在、多くのボラは、**民家の倉庫や漁具の資材置き場**として利用されている。入り口に扉をつけたり、中に柵をつくったりと、各家庭で工夫されている。

また、野々島**棧橋**の向かいにある無人島の**柏木島**では、海に面したボラも見る事ができる。舟でしか行けないことから、おらく**舟運**の時代に活用されていたものだろう。



(背景・豆知識)

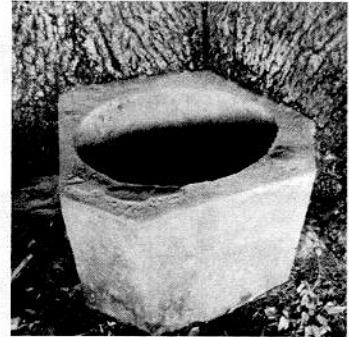
【ボラの語源】「洞穴」が訛って「ボラアナ」になり、短くして「ボラ」となったのではないかとされている。

【内海長者】内海家は鎌倉時代に野々島に移り住んだとの記録が残っている。

(体験談&裏話①)

「井戸」「かまど」「神棚」＝生活の痕跡

ボラ内部には、「井戸」「かまど」「神棚」の3点セットが備わっているものもある。現在では倉庫として使われているボラだが、かつては人が生活していたことをうかがわせる。戦前は、朝鮮半島から出稼ぎにきた人たちが、ボラを住居として農作業に従事していたという話も耳にする。東日本大震災の際、島では約2ヶ月間も断水がつづいた。飲料水用のペットボトルは支給されたが、洗濯や風呂には、井戸水が大切に使われた。



ボラ内部の井戸。場所によっては塩分を含むなど、水質も異なる。

(体験談&裏話②)

ボラはどうやって掘ったのか？

浦戸諸島の地層は、第三紀層（約7千万年前から100万年前）の凝灰岩、砂岩、礫岩などの非常にもろい岩質でできており、簡単に削ることができる。ボラの内部は鑿（のみ）や鉋（ちょうな）を使って人の手で掘ったと考えられる。野々島の尾根沿いには、ボラ以外にも昔の人が削ってつくった「切り通し」やそこに設置された「野仏」も見ることができる。



ボラの内部には、道具を使って掘った跡が残っている。

(体験談&裏話③)

家に直結、生活に密着したボラ

今でも津波の難を逃れたボラは、民家に直結した形で残っており、今も室内空間と一続きの倉庫として重宝されている。震災前、多くのボラは家と繋がっていたが、津波で家々が流されてしまったために、崖沿いにはボラだけが残っている。今では屋外の物置として漁具や自転車などの置き場にしているお宅もある。



現役のボラは、トタン屋根などで自宅と直結しているものが多い。

解説の工夫

- | | | |
|--|---|--|
| 【働きかけ・体験行為】 ボラを外から見せて「この洞穴はなにか？」とたずねてみる。 | → | まず、遠くから穴の大きさや形をよく観察する。近寄って崩れやすい土質にも触れてみる。 |
| 【発見・興味】 ボラの中に、井戸・かまど・神棚があるのを見て、不思議に思う。 | → | 中の暗さや温度・湿度を体感してもらい、「自分が住むならどのボラが快適か？」など感想を聞く。 |
| 【事前準備】 ボラの内部の崩れがないかなど、事前によく観察しておく。 | → | 当日は足下や天井に注意するよう伝え、ボラ内部には数人ずつ、順番に入ってもらおう。(安全管理) |

※体験談&裏話①～③は、野々島区の鈴木虎男さん、西川信男さんよりお聞きした内容を元に編集したものです。